

# 国際交流員(CIR)活動ページ

レポート: ジョ ヒウン (韓国)

안녕하세요(こんにちは)。韓国の国際交流員ジョ・ヒウンです。

やっと春が来ていると感じる毎日です(-) 床暖房がある韓国の家に慣れている私にとって、こたつだけの日本の冬はとてもきつかったです。そういう私を癒してくれたのは、道沿いに咲いてある椿でした。椿が冬の花であることは知っていましたが、実際に見るのは初めてでした。こんな寒い天気でも頑張ってくれてくれるんだと、なんか感動しました。その椿とパトタッチをする形で、本格的な春の訪れを知らせる梅が咲き始めましたね。これから、春の象徴である桜も咲くでしょう。

去年、韓国で流行った言葉の中に、「花道だけを歩こう(꽃길만 걷자)」という言葉がありました。大変なことがあったり、落ち込んでいたりする人々に、「これからは花道だけを歩けますように」と励ましてあげる意味で使われています。皆さんも、今年は花道だけを歩けますようにお祈りします(-)

## 「国際親善ナンコ大会」で、中国国際交流員リ・ディが優勝



2月2日、清姫温泉(日当山)で行われた第18回「新春国際親善ナンコ大会」(霧島市国際交流協会主催)に、霧島市国際交流員3人も参加しました。

ナンコとは鹿児島県の伝統遊びです。ルールは、2人が長さ約10cmの棒を3本ずつ持って、0本から3本まで相手に分からないように片手に隠しながら前に出します。2人が出した棒の合計数を推測して、当てた人が勝ちとなります。

今年は、アメリカ・中国・韓国・カナダ・イギリスなど5ヵ国から7人の外国人と、24人の地元の方々が参加され、ナンコ(と焼酎?^^)と共に、国際交流を楽しみました。8チームの予選リーグでそれぞれ1位を決め、その後8人のトーナメント戦で優勝者を決めました。参加者の皆さんがいきいきと応援する中で、決勝戦に進んだのは、中国国際交流員りさんと中国出身の裴日子さんでした。皆が息をこらしながら見守る中で、りさんが見事優勝を手に入れました!練習時に優勝候補だと言われていましたが、さすがりさんは強かったです(-) りさん、優勝おめでとございます!

りさんからは、「相手を読むのは難しいですが、落ち着いて自信を持ってプレーすることが大切です。昼休みの練習に付き合ってくれた職場の皆さん、応援してくれた参加者の方々に心から感謝申し上げます。あいごとさげもした!」と、ジョセフさんからは、「色々な人と一緒に食事しながら話して、一緒にナンコで遊びながら飲んで、とても楽しいイベントでした!」とそれぞれナンコ大会に参加した感想を聞かせてくれました。

鹿児島県の伝統遊びである「ナンコ」を通し、地元の方々と楽しく交流ができてとてもよかったです。

## 「国際交流～はじめての一步～」で、韓国を紹介

2月4日、国分公民館に集まった23人の小・中学生に韓国について紹介しました。活動ページ2月号でも紹介しましたが、霧島市社会教育課が主催するきりしまチャレンジャー「国際交流～はじめての一步～」という授業で、1月はアメリカと中国について紹介しました。

今回は韓国の伝統遊びであるトゥホ(輪投げ)・チェギ(けまり)・コンギ(お手玉)・タクチ(めんこ)を紹介し、体育館で子どもたちと一緒に遊びました。また、韓国についてO・Xクイズをしながら韓国の文化について学んだり、韓国語で簡単なあいさつや自分の名前をハングルで書いたりするなど、短い時間でしたが、韓国について色々体験してもらいました。最後に韓国の家庭料理であるトングランテン(一口サイズのハンバーグ)とパブリカご飯チヂミと一緒に作って食べました。「はじめての一步」を通して、異文化についての理解を深めると共に、自国である日本についても新たな発見ができたなら何よりだと思います。

